

午前七時半に 塩沢登山口集合、カッパ着用する程ではなかつたが、天候が思わしくないため、目的地を僧悟台分岐に変更。整備作業を実施した。見晴らし岩から、分岐までは全員で刈払い作業、分岐に荷物置いて、刈払い作業の他に 分い

岐上の登山道、シャクナゲ藪を避けて、二箇所にバイパスを造つた。□□□会長だけは一本松まで登つて刈払いした。

▼前日に作業。水場上の階段(梯子)、ここは、二〇一三年九月に「塩沢組」



僧悟台分岐で集合写真、参加者7名、草刈機は3台



倒木処理



階段も修繕



草刈機で作業中

□□」によって設置され（会報三〇一号）、利用されてきたが、長い間に少しずつ崩壊が進み、利用できなくなっていたが、整備作業前に、□□会長によつて新しい階段が設置された。また登山道各所の十本を越える「倒木」も、処理された。



2013年、最初に階段作った時の写真



僧悟台 分岐下で作業中

六月例会の「ワンポイントレッスン」は、□□□さんのザイルを使った「自己確保術」の紹介。登山の際、色々な場面に出会うが、そんな時、先ず行わなければならぬのが自分の安全確保。以前に会で斡旋して



ザイルとカラビナを会員に買って貰つたが、最近それを「山で」積極的に使つて練習することがなかつた。今回のワンポイントレッスンを機会に「山で」練習してみること考えてみたい。

## 春の僧悟台登山道整備

六月二十三日(日)  
報告

発行所  
二本松市木ソ板坂  
あだたら山の会  
編集部

●編集部連絡先  
二本松市郭内1-5-15  
0243(22)4245  
渡辺 正

六月六日(木)

例会後の「ワンポイントレッスン」  
自己確保術、□□□さん

報告 編集部

六月九日（日）

六月山行 いわき市二ツ箭町

報告



月山山頂で 全員集合

梅雨入りから、唯一の晴れの山行となりました。久し振り六名での自家用車一台での山行。七時に二本松市役所に集合し、高速でいわきへ。二ツ箭の根本登山口へ予定通り九時到着。登山開始し、計画した林間コースからメインの尾根コースへ変更し登山となりました。心配していた天候も安定し、気温も十七℃程度なので過ごしやすくて、最高の登山日和となりました。二ツ箭山へ初の山行となる三

名は氣分もウキウキ、男体山・女体山、岩壁の眺めも益々期待する気持ちも高揚するばかり。今回の参考はペテランの会役員が岩に不慣れな会員を山頂迄、登頂させるという目的もあり、十時二十分〆張場から新緑を楽しみ、「ギンレイソウ」も數多く眺め、十時五十分尾根コースの鎖場へ到着、二名は一般コースへ四名は四十歳の鎖場を、鎖とロープを使い、腕の力を最大限發揮し、更に十歳の女体山



女体山頂にて



左男体山、右女体山



二、以箭山山頂にて



女体山から男体山を望む

今年の南小登山は、六月七日の予定が、雨が予想されたため、延期され十四日の予備日に行われた。当日は風も無く穏やかな日で、何事も無く全員無事に下山できた。

午前七時十五分に南小集合。四年生六年生それぞれバスで、亀谷坂・塩沢経由で奥岳まで移動。準備体操の後、元気に登山を開始した。今年は花の咲き方が普通でなかった。奥岳を出发して、勢至平当たりまでは、タニウツギのピンクの花、その上くるがね小屋迄はツマトリソウの大群落。

山頂標識で記念撮影、みんなで乳首まで登って、「魔物」の横顔を見てロープウェイで下山。無事に学校まで戻った。今回、バスで谷坂を通つたのは初めてだった。最後尾だったが、最初から最後まで、最後尾の父兄の所に児童も来て一緒にになって歩いている。クラス毎に列を作つてという歩き方でない。ちょっと変な感じもしたが、こう言うのも良い思い出になるのかと思つたりもした。

の鎖場へ。もう二ツ箭山が  
低山でありながら、これほど  
どの岩場の魅力があること  
に大感激です。山頂からの  
眺めも素晴らしい。その間  
ベランド岩場不慣れの会  
員は、ロープを使い男体山  
山頂へ。十二時二十分二ツ  
箭山山頂へ。すぐに十二時  
三十五分月山山頂へ。六名

が月山山頂で落合い、十二時三十五分から昼食。展望も良く、ゆっくり交流し、十四時十分下山後分岐へ。十五時根本登山口へ。途中でマムシがネズミを呑み込んでいるところに遭遇する。

改めて男体山女体山を眺め、六名で充実感百分の山

行となりました。梅雨の中の晴れ間に感謝！。予定通り 十六時五十分二本松まで役所へ。

南小登山

報告編集部



児童代表から 御札の言葉を戴いた

六月十六日（日）

県総体 クライミング競技

幸言集



競技中です

六月十六日（日）県総体  
クライミング競技が岳温泉  
の元スカイピア体育館、S  
AAP（スカイピアあだたら  
アクティビティパーク）、ク  
ライミングウォールを会場  
に開催された。

この辺で県総体について  
ひとくさり。以前は県総合  
体育大会に、「山岳競技」  
があり、山歩きの技術・速  
度を競う「縦走競技」、地  
図読み能力を競う「踏査競  
技」、岩登り技術を競う「登  
攀競技」、他に「幕営競技」  
「天気図読み」「計画書」  
等の種目もあった。種目は  
次第に淘汰され、一九四五

ング競技のクライミング競技の各ポイントに役員としての参加も少なくなっていた。ところが今から会場が岳温泉のスイミング競技のこと殆どないが、「地元山岳会という見栄もあり参加しければなるまい」と言うとで参加を申し込んだ

競技関係者と接触禁止などで、その状態を維持する役目）。会場に行つてみたが、役割にはそれぞれ経験豊富な専門家（県内各山岳会の旧知の人達ではあるが）が居り、初心者の我々は「お手伝い」だけ、結局は役目離れて競



翻字度です



出場者集合

□さんと二人だけだったが。

技観戦が主だった。競技は派手なBGMの元、派手

二〇〇八年六月  
羊蹄山で

羊蹄山では、お巡りさんのお手

報告

木立の中なので快調にとばした。七合目五時五十分、樹木は低くなつたが視界はなかつた。八合目には六時、時々視界が開けて来た。九合目には六時二十七分に着き、火口の岩礫帯の側にあらわ花畠で一服した。この辺から登山道は険しくなり、火山特有の足場の悪い道が続いた。尾根に着くと山頂が目の前に聳え、最後の急登の岩礫帯があり、父釜と呼ばれる大きな火口の縁を通り、六時五十二分山頂に立つた。快晴だったが、遠く北の方角の山には雲がかかっていた。風もなく穏やかな山頂で食事をした。人影はなく、この山全部が私の世界だった。頂上では、記念写真を自分で写している。

令和、初山行は安達太良山

## 達太良山と 五月、六月の花三昧

報告□□□□



5月5日 安達太良山頂



5月14日

く穢やか。あちこちでオニギリやパン・カッブラー・メンソウを食している登山客。私もうどんの昼食、約一時間の休憩。三時前にもうがね小屋を経て下山の計画。三時四十分ぐるがね小屋出发、奥岳へは予定時間の五時に下山。

当日、薬師岳より上は雪道、仙女分岐上は登山道が川の様に雪解け水が流れている。山頂や稜線は乾き歩きやすい。小屋の前のミズバショウも咲き勢至平の道はシヨウジヨウバカラ咲き始めている。くろがね小屋の自動車も「八の字頭」まで上がっていた。山も春間近し。

「イワカガミ」「ヒトリシズ  
カ」「シラネアオイ」「ニ  
リンソウ」等、観察や写真  
撮りでペースが上がらない  
い。「ユブ」で小休憩、雨  
がボツボツ降り出しだが、  
小雨で終わる。尻立山（ド  
ンデン山）十五時四十分下  
山。ドンデン山荘午後四時  
マイクロバスでホテルへ、  
翌日「トキの里」など見学。  
フェリー、マイクロバスで  
帰宅。「花の佐渡」を楽し  
む事が出来た。

▼五月十九日（日）、安達  
太良山開き。今回もパトロ  
ールで参加。私達はAコー  
スの二班。五名が薬師岳カ  
時十分。パトロールしながら  
山頂へ。途中悪路では迷  
滯したが事故もなく山頂到达

田(水) 佐渡ドンテン山、  
城山クラブ山樂会山行に參  
加。早朝マイクロバス、フ  
エリーで佐渡へ。佐渡のマ  
イクロバスで登山口の「ア  
イヌバ」へ。  
（一月四日）

典を終わり、くろがね小屋へ下山、遅い昼食となる。下山途中、馬車道では白い「シヨウジヨバカマ」に遭う事も出来、ラッキーの出来事であった。

A group of four people, three men and one woman, are standing together outdoors. They are all wearing safety gear, including helmets and harnesses. The man on the far left is wearing a white jacket and a pink helmet. The man next to him is wearing a yellow jacket and a black helmet. The woman in the center is wearing a red jacket and a red helmet. The man on the far right is wearing a blue jacket and an orange helmet. They are all wearing backpacks and appear to be preparing for a hike.

入山。箕輪スキーフィールドへ下山  
旧土湯峠の「峰桜」期待して  
ていたが花が終わり葉桜も  
態。鬼面山箕輪山の登山道  
の雪渓あたりで「峰桜」を見る  
事が出来たが、花の粒  
が少ない様だ。箕輪山頂にて  
二時、下界福島は気温三十  
度だったが、山頂は涼



5月26日 箕輪山・峰様

▼五月三十日（木）晴、十二時十五分山頂着陸。山麓の白ヤシオ花見。山クラブの会員に誘われ、白ヤシオを案内。大越登山口、九時三十分出発、賽の河原、霧島権現、山頂、ラベラ石まで足を伸ばし、日山権現コースを下山する。十五時大越登山口へ下山の予定。

例年霧島権現のクサリ場あたりから白ヤシオ、紫ヤシオが見られるが、今年は花は枯れ見る事が出来なかった。山頂の神社の前の白ヤシオが見頃で、日山権現



5月20日 未達相山

く岩の上で昼食の力ッププリもいる。小広い場所で眺望を楽しみながら一時間半の大休憩。午後一時半下山、十五分、二十分下山したところで、今日の目的だった「峰桜」の満開に出会うことが出来、また「アズマヤクナゲ」の赤い蕾にも遭うことが出来、大満足の山行であった。

▼六月三日（月）、不忘石スキーフィールド、ユキワリゴザクラ、山、山頂十二時四十五分、入山届け出そうとしたが、届け出用紙が無く、届け出さずに入山。考え方甘ったことを反省している。平日で入山時点で駐車場車は十台くらい。白石女高小屋跡地を過ぎたあたり、山ツツジが昨年は見だつたが今年は寂しい。レンゲツツジは蕾が赤くらみ綺麗。少し早かったかなと思い登る。弘法清水辺あたりからチングルマ・シラネアオイを見るが出来、イワカガミや峰など見る事が出来る。峰は散り始めているので、



三才圖會 - 藥考二

▼六月九日(日)、安達太良山レンゲツツジ花見  
部落の屋内消毒の日。レゲツツジを見に安達太  
へ。奥岳九時半出発、途タケノコを五本ほど取り  
勢至平のレンゲツツジ群地十一時期待していた  
り、今が見頃で咲き誇っている。カメラにどれを選  
か迷う。何年ぶりかの見に出会う事が出来た。十  
た。



三

二十一、通王  
平氏  
六  
卷之三

時過ぎ 昼食。休憩室で、会員の口  
口さん達がパトロールで上  
がっていたのと一緒に茶  
会。二人が下山後、午後二  
時五十分、峰の辻まで上がり  
下山すると小屋の管理人  
に話して出発。ガレ場上で、  
オノエランとイワカガミを  
カメラに収め、登る途中五  
十歳くらいのカップルに会  
い、イワカガミの話をする  
と「イワカガミって何ですか?」  
とのこと。話をする  
と「綺麗ですね」だけの返  
事だけだった。峰の辻上の  
オノエランは、まだ早く電  
も無い。竜山ルートを下山、  
前回登山道整備の時、口



12 / 14